



氏名 戸次咲恵
所属 理学研究科 生物学専攻
学年 修士2年

留学先 シェフィールド大学
留学期間 2025/8/16~2025/9/7

留学レポート Study Abroad Report

【はじめに】

留学前、留学生との交流や海外旅行で英語を使う機会にはありましたが、自分の考えをうまく伝えられなかったり、相手の話を聞き取れなかったりすることがあり、その悔しさから英語力を高めたいという思いが強くなっていきました。コロナ禍や部活動、大学院入試、就職活動などで留学の機会を逃してきましたが、大学院2年の夏が最後のチャンスだと考え、今回のプログラムに参加しました。留学先としてシェフィールド大学を選んだのは、以前から関心のあったUK ロックの文化に触れながら、自分の成長を実感できる環境に身を置きたいと思ったからです（Arctic Monkeys というバンドはシェフィールド出身です！）。この留学体験記が、これから留学を考えている皆さんの参考になれば幸いです。

【授業について】

全ての講義で、3~4人のグループに分かれて意見交換をしながら進行する形でした。月曜~金曜に授業があり、午前と午後で内容が分かれていました。先生の英語は非常に聞き取りやすく、分からないことがあってもすぐに質問できる環境なので、授業中不安になることはありませんでした。

・ Language Development class (午前中2コマ・毎日)

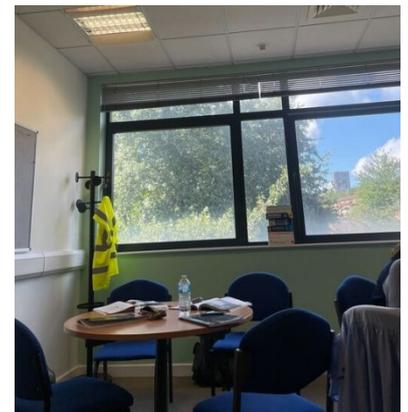
TED TALKS の教材を使って、リスニング・文法・語彙・スピーキングを学びました。授業の最初に、英語を使ったクイズ・ゲームや、週末や放課後での出来事を話す時間がありました。宿題は1週間に1度程度で、2人の先生が交代で担当していました。私のクラスは、日本人9人、中国人2人、韓国人1人、イラク人1人の計13人でした。

・ Business Class (Option) (午後1コマ・週2回)

ビジネス英語の表現や語彙を学びました。来年から社会人になることもあり、ビジネス英語を学ぶことは自分にとって貴重な機会だと考えてこのクラスを選びました。他の受講者のレベルが高く、内容が難しいと感じる場面もありましたが、刺激を受けながら学ぶことができました。

・ Lecture Preparation Class、Online Lecture (午後1コマ・各週1回)

Lecture Preparation Class は、翌日のオンライン授業の予習でした。オンライン授業は、ノートを取りながら講義を受け、翌日の Language Development class で意見交換を行いました。授業の最後にクイズがありました。



↑ 教室の様子

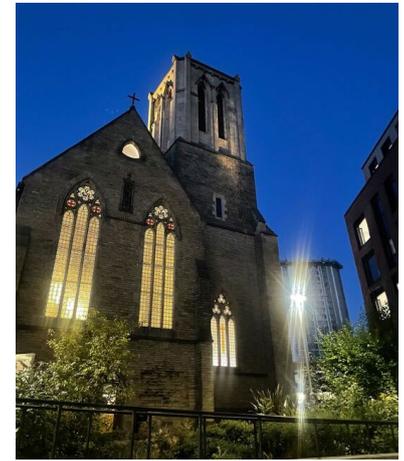
【現地での生活について】

・気候

シェフィールドの気候は、高温多湿の日本と比べると本当に過ごしやすく、とても快適でした。思ったよりも寒くて、基本的には長袖に羽織りものでちょうどよかったです。雨が突然降ったりやんだりすることも多いため、フード付きの撥水ジャケットが役に立ちました。現地の人も、土砂降り以外は傘をさしていませんでした。

・寮

大きな問題はありませんでしたが、シャワーの排水が悪い点が少し気になりました。また、前の人が置いていった備品があるかもしれないと少し期待していましたが、実際には何にもなかったため、必要なものは持参することをおすすめします。大抵のものは現地でも購入可能です。キャンパスまでは徒歩 10 分ほどで、近くにコンビニやスーパーもあり便利な立地でした。



↑寮の様子

・食べ物

「イギリスの食べ物はまずい」というイメージを持つ人もいますが、私が食べたものはどれも美味しかったです。PUB では美味しいビールをたくさん楽しむこともできました。ただし、硬水が体質に合わなかったのか、ペットボトルの水でも毎日お腹を壊してしまいました（解決策は見つかりませんでした）。

【現地でできた友達との交流】

このプログラムの一番の欠点は、現地学生との交流がほとんどなかったことです。そのため、放課後に言語交換イベントや大学の Society に参加し、交流の機会を広げました。

・Language Exchange

大学とは関係なく外部で開催されるイベントで、クラスメイトに教えてもらい参加しました。様々な言語を学びたい人が集まっており、参加者の多くは社会人でした。ここで出会った人とは音楽の話で意気投合し、一緒にライブに行くこともできました。

・Japanese Society

シェフィールド大学で、日本に興味を持つ学生が集まるサークルのイベントにも参加しました。日本語を話せる学生もいて、交流しやすかったです。ここで知り合った学生に後日シェフィールドの街を案内してもらい、公園やパブに行くなど、貴重な体験ができました。



↑ Language Exchange

【観光について】

毎週土曜日には大学主催の格安ツアーが開催されており、それを活用しながら複数の都市を観光することができました。一人旅はもちろん、出会って間もない人たちと一緒に海外を旅することはとても貴重な経験でした。私は Nottingham、Liverpool、Manchester、Edinburgh、York、Castleton を訪れました。特にリバプールはビートルズの聖地として有名で、長年訪れたいと思っていた場所でもあったため、印象深かったです。また、マンチェスターや Castleton には、イラク人や韓国人、他大学のクラスメイトと一緒に出かけることができ、とても良い思い出になりました。



↑ Liverpool



↑ Edinburgh



↑ Castleton

【持ち物について】

・ドライヤー

日本で使っているドライヤーと変圧器を持っていきましたが、なぜか現地でうまく使えず、世界対応のドライヤーをもってきていた友達に毎日借りていました。世界対応のものを持っていくのがいいのかもしれませんが。

・酔い止め

私は酔いやすい体質なので、酔い止めを多めに持って行っていたのですが、すべて使い切りました。放課後や休日にトラムやバス、電車を利用しましたが、どれも日本より酔いやすいように感じました。酔いやすい体質の人は酔い止めを多めに持っていくことをお勧めします。

・クレジットカードについて

観光チケットの予約などでクレジットカードによるオンライン決済を行う際、SMS 認証が必要となる場面が何度かありました。私は現地の電話番号を所持していなかったためSMS 認証は利用できませんでしたが、VISA と MASTER カードをそれぞれ 1 枚ずつ持参しており、そのうち片方は SMS 認証以外の方法で認証が可能だったため、大きな問題はありませんでした。現地で電話番号を取得する場合は問題ありませんが、念のため複数枚のカードを持参されることをお勧めします。



↑爆発寸前のドライヤー

【最後に】

今回の留学を通して、共通言語である英語を使ってさまざまな国の人々とコミュニケーションが取れることに大きな感動を覚えました。寮生活を通じて現地で一人暮らしを体験できたことも貴重な経験でした。また、UK ロックの聖地を訪れたことで、イギリスや音楽に対する関心も一層深まりました。英語学習の面では、留学前から VLT や English Café に参加していたものの、もっと日常的に英語に触れておくべきだったと感じました。特にリスニング力の重要性を痛感し、帰国後はクラスメイトに勧められた英語学習用 Podcast を聞いて学習しています。現地でできた友人とも今も連絡を取り合っており、英会話を学ぶモチベーションはさらに高まっています。留学を通して、言語以外にも多くの学びを得ることができました。これから留学を考えている方は、ぜひ臆せず挑戦して、充実した留学生活を送ってください。



↑寮から徒歩 15 分程度の HMV